

# 小学校との連関の上から見た保育内容の再検討

光榮幼稚園 日 名 子 太 郎

現実の傾向調査を基として、前記の点を考察したものである。

## 一、要 旨

今日ほど、幼児教育特に幼稚園教育が隆昌と繁栄を示した事は今迄に嘗って無かつた事であろう。この現象が、幼児への理解と、その教育の重要性の認識の結果にのみよるのであるならば、真によろこばしい事と云わねばならない。しかし現状は、その内に何か正常でない、異常因子を含んで居り、これが実際の保育面にまで影響を与ふるに至り、現実には保育内容すら歪めているように推察される。

1、本研究は、現在の吾国の国情から、幼年教育の為の学制改革或いは幼稚園教育の義務化の早急な実現は一応困難とし、現状に於て、小学校との連関の上から、現実の幼稚園教育、特にその保育内容を反省し、正しい進展の為の基本資料を得る為に行つた調査である。

2、本研究は、東京都（除三多摩地区）内における幼稚園（保育所）施設という集団に対する小学校側資料に基づき、幼稚園教育の

## 二、方 法

東京都（除三多摩地区）内の全公立小学校（六八六校）及び私立小学校（一四校）に対し、左の如き調査用紙を配布、回答を求め、その分析、推計を行つた。

## 三、資 料

- 第一表 調査解答率
- 第二表 施設終了者数に関する調査表
- 第三表 小学校側よりの希望、批判分類表
- 第四表の I 躰に関するもの
- II 保育内容カリキュラムに関するもの
- III 幼稚園・小学校間の連絡に関するもの
- IV 幼稚園の方針に関するもの
- V その他

【調査記入用紙】

記入日 昭和29年 月 日 ( 小学校)

1. 本調査は東京都内の国・公・私立小学校全部について行います。
2. 本調査の結果は集計の上、昭和29年度第6回保育学会において発表いたします。
3. 本調査の結果に基づき保育内容に再検討を加えたいと存じます。
4. 記入は、なるべく現在第1学年を担当しておられる方が、低学年教育に充分な御経験のある方をお願い申し上げます。

○調査事項

番号	項目	解答
1	貴校第一学年在籍者数	名
2	在籍者中、幼稚園修了のもの	名 %
3	〃 保育所	〃 名 %
4	幼児指導要録は利用されていますか。	(何れか) ○ はい、いゝえ □ いいえ
5	幼稚園・保育所における保育のそむこと (簡条書き)	

次の表は該当部分に○印をつけて下さい。 (発中(他)とは、幼稚園、保育所に行かずに家で直後小学校へ入学した児童を意味します)

番号	項目	入学直後における比較	
		A 他より勝っている	B 現在に於ける他より勝っている
6	ひとと親しむ	〃	〃
	ひとと協力する	〃	〃
	責任を重んずる	〃	〃
	自副心がある	〃	〃
	自分で判断する	〃	〃
	正しく批判する	〃	〃
	指導力がある	〃	〃
	礼儀が正しい	〃	〃
	きままりを理解して守る	〃	〃
	探究心がある	〃	〃
勤労を喜ぶ	〃	〃	
物を大事にする	〃	〃	
活	力	〃	〃
	力	〃	〃
	能	〃	〃
耐	久	〃	〃
	機	〃	〃
	能	〃	〃
理	解の出来る	〃	〃
	乗数	〃	〃
	読	〃	〃
表	現	〃	〃
	力	〃	〃
	感	〃	〃

第3表 小学校側よりの希望、批判分類表

順位	項目	頻数	全体に対する %
1	躰に関するもの	129	46.7
2	保育内容、カリキュラムに関するもの	91	33.0
3	幼稚園、小学校間の連絡に関するもの	23	8.4
4	幼稚園の方針に関するもの	20	7.2
5	その他	13	4.7
	計	276	100.0

第4表の1 躰に関するもの

順位	項目	部分頻数	頻数	全体に対する %
1	悪い意味で学校や先生に馴れすぎている	21	21	7.6
2	甘やかさないこと	10	19	6.9
	わがまみにしてすわらないこと	7		
	もっと厳格な点もあってほしい	2		
3	仕事を中途半端にする	5	18	6.5
	早のみこみをする	4		
	注意散漫	4		
	落ち着きがない	3		
	物事に対する真剣さが足りない	2		
4	しつげに重点をおいてほしい	16	16	5.8
5	遊び方の指導(社会性の訓練)	5	14	5.0
	誰とでも仲良く遊べるよう	6		
6	規則を正しく守るよう	9	13	4.7
	礼儀正しく(挨拶返事など)	4		
7	誤った優越感を持たせぬよう	11	11	4.0

第1表 調査票解答率

区分	校数	解答数	解答率
千代田	15	5	33.3%
中央	20	5	25.0
港	26	5	19.2
新宿	31	7	22.6
文京	18	3	16.7
台東	28	6	21.4
墨田	25	5	20.0
江東	26	7	26.9
品川	35	6	17.1
目黒	20	5	25.0
大田	50	11	22.0
世田谷	43	10	23.2
渋谷	21	5	23.8
中野	23	6	26.0
杉並	37	6	16.2
豊島	27	6	22.2
北	29	6	20.7
荒川	26	5	19.2
板橋	30	7	23.3
練馬	20	5	25.0
足立	35	6	17.1
葛飾	35	13	37.1
江戸川	32	4	12.5
武蔵野市	8	0	0
三鷹市	6	1	16.6
八王子市	10	1	10.0
立川市	6	2	33.3
青梅市	4	0	0
私立	14	4	28.5
計	700	152	21.7

14	音楽・遊戯に偏しないこと	1	1	0.4
	知的にとらわれぬもっと内的保育を	1	1	0.4
	指導に計画性がほしい	1	1	0.4
	三年保育の再検討	1	1	0.4

第4表の3 幼稚園、小学校間の連絡に関するもの

順位	項目	部分 頻数	頻数	全体に 対する %
1	指導要録を送付してほしい	11	11	4.0
2	幼稚園・小学校間の協議会がほしい	10	10	3.6
3 ↓ 4	小学校・幼稚園の相互公開	1	1	0.4
	指導要録は文章でかく方がよい	1	1	0.4
			23	8.4

第4表の4 幼稚園の方針に関するもの

順位	項目	部分 頻数	頻数	全体に 対する %
1	御気嫌とりの保育は困る	3	8	2.8
	子供の公平な取扱いをしてほしい	2		
	劣等感をもちせぬよう注意してほしい	2		
	温室育ちにしないこと	1		
2	子供らしさを失わぬこと(小さな大人にしないでほしい)	2	6	2.1
	素直な子供に	2		
	健康で、線の太い子供に	1		

順位	項目	部分 頻数	頻数	全体に 対する %
8	依頼心が強い	6	6	2.1
9 ↓ 10	団体的訓練をしてほしい	4	4	1.4
	他人の世話を焼きすぎる	4	4	1.4
11	物を大切に	1	3	1.0
	華美にならぬよう	1		
	恩恵を知ること	1		
			129	46.4

第4表の2 保育内容、カリキュラムに関するもの

順位	項目	部分 頻数	頻数	全体に 対する %
1	余り知的にわたらないように教材の選択	45	50	18.1
		5		
2	小学校との連絡あるカリキュラムの作成を	13	13	4.7
3	創造力を養ってほしい 図工、音楽等の感覚を重視してほしい	8	12	4.3
		4		
4 ↓ 5	音程に配慮のこと 情操的方面の陶冶をのぞむ	3	3	1.0
		3		
6	幼稚園間の差を少なくしてほしい	2	2	0.7
7 ↓ 1	宗教的色彩があつてほしい	1	1	0.4
	生活体験を豊富に	1	1	0.4
	観察の訓練	1	1	0.4
	偏食矯正	1	1	0.4

第4表の5 その他

順位	項目	部分 頻数	頻数	全体に 対する %
1	施設数を増し、義務制とするよう	4	4	1.4
2	保育所終了者は動作、言葉の指導	3	3	1.0
3 ↓ 5	幼児教育の重要性を認識させる	2	2	0.7
	施設の適当な配置	2	2	0.7
	保育所との連絡	2	2	0.7
			13	4.5

順位	項目	部分 頻数	頻数	全体に 対する %
	子供の夢を伸ばしてほしい	1		
3	親が優越感をもたぬような指導を 両親教育を徹底せよ	2 1	4	1.4
	知能検査に対する保護者の指導	1		
4	入学準備はやめてほしい	2	2	0.7
			20	7.0

第5表の1

(解答校数152校申記入校数120校)

項目 番号	目 標 評 価	A, 入学直後における 比較			B, 現在における比較			
		A+	A0	A-	B+	B0	B-	
社 会 性	1	ひとと親しむ	111	8	1	32	88	0
	2	ひとと協力する	53	61	6	18	98	4
	3	責任を重んずる	17	99	4	6	112	2
	4	自制心がある	19	71	30	8	103	9
	5	自分で判断する	69	50	1	21	96	3
	6	正しく批判する	43	75	2	14	106	0
	7	指導力がある	80	40	0	36	84	0
	8	礼儀が正しい	46	59	15	16	101	3
	9	きまりを理解して守る	39	69	12	13	103	4
	10	探究心がある	30	87	3	9	108	3
	11	勤労を喜ぶ	22	92	6	5	114	1
	12	物を大事にする	13	93	14	4	112	4
身 体 機 能	13	活 力	84	36	0	23	97	0
	14	耐久力	27	87	6	5	111	4
	15	運動機能	78	42	0	34	86	0

項目 番号	目 標 評 価	A, 入学直後における比較			B, 現在における比較		
		A+	A0	A-	B+	B0	B-
知的 方面	16 理解の出来る言葉数	109	11	0	42	78	0
	17 読解力	86	34	0	33	86	1
	18 表現力	103	17	0	49	69	2
	19 リズム感	109	11	0	57	63	0

第5表の2

幼稚園終了者の家庭から来た者より勝る点		幼稚園終了者の家庭から来た者より劣る点	
A +	B +	A -	B -
ひとと親しむ 理解の出来る言葉数 リズム感 表現力 読解力 活力 指導力がある 運動機能 自分で判断する	リズム感 表現力 理解の出来る言葉数 指導力がある 運動機能 読解力 ひとと親しむ 活力 自分で判断する	自制心がない 礼儀が正しくない 物を大事にしない きまりを理解して守らない 勤勞を喜ばない ひとと協力しない 耐久力	自制心がない 物を大事にしない きまりを理解して守らない ひとと協力しない 耐久力 礼儀が正しくない 探究心がない 自分で判断しない

第五表

施設終了後の進学者と、家庭からの進学者についての社会性、身体機能、知的方面に関する傾向比較表。

四、考 察

(1) 第一表の如く可成の解答率を示し(二十三区内最高三七・一%、最低一二・五%、都内平均二一・七%)相当程度迄、現在の傾向を知り得よう。

(2) 第三、四、五表によれば、幼稚園が、その本来の目的を逸脱して、いたずらに皮相な知的教育に走っている傾向が強い。これは、第四表2の「順位」余り知的にわたらないように、教材の選択」が全体に対して最高の一八・一%を示し、その反面、「躰に關するもの」への希望、批判が全体の四六・七%を占めている事実や、或いは第五表2に於ける幼稚園終了者の長所中、知的方面に関するものが多いことから推察される。小学校入学時、幼稚園終了者の占める割合は、現状では、区立幼稚園の多い千代田区・中央区や私立をのぞき、大体五〇%以下が大半を占め、このことは、皮相な知的教育への偏向は、入学時における児童の学習へのモチベーションを妨げる点で重大な問題と云える。(この事は、幼稚園で、発達の早い成熟度充分な子供達の知的欲求にも応じてはならぬということではない)こ

の反面、第五表<sup>2</sup>で、短所として現われた項目は、人間形成の爲の教育、大衆の爲の幼児教育の使命を幼稚園が充分に果しているかについて反省せしめられる。以上綜合して、現実の保育内容は、その本来の形が、何らかの原因で歪められているに過ぎないのであって保育内容そのものに対する再検討よりは、むしろ保育内容を歪曲している原因の探索と除去が必要なのであり、これが間接には保育内容の再検討という事になる。

### (3) 保育内容歪曲の原因と考えられるもの

イ、幼稚園の大半が私立である為、経営者若しくは園長は、その経営の故に、教育の理想よりは誤まれる考え方に妥協又は迎合させられる機会や誘惑が多い。

ロ、保育の任にあたる教員が不足し、助手が可成多く、その為、教養や技術が不十分で当然幼稚園の保育の基礎となるべき内容が困難で実行し得ず比較的柔な皮相な知的方面に走る可能性が強い。

ハ、国立、私立小学校への入学準備教育が幼稚園へも、世の親達を経て進入して来ている。そして、これと幼稚園の経営問題が結び付くことにより保育内容は重大な支障を受ける。

ニ、小学校側は、余りに小学校中心の教育観が強くと、就学前教育を余計なもの、邪魔なものと考えている事が屢々見られる。

ホ、同じ幼児の取扱いながら、幼稚園、保育所間の連繫も余り充分とは云えず、親も夫々の機能を良く知らない。

ヘ、幼稚園、小学校の相互連絡が全くない。

### 27頁より続く 注目すべき顕著な事実と考えられる。

私共は日常の幼児健康相談の腕床上の経験から、「食欲のない子供」「夜ねむりの浅い子供」「落つきのない、いらいらした子供」俗にいう「痢の高い子供」ときどき「自家中毒をおこす子供」などの食生活の内容を調べる場合に、十中の八、九彼等の間食のかたよりに気がつく、而もそれが多くの場合、甘い菓子の異常欲求であり、過剰摂取の結果である。極端にいえばその中毒とも考えられる。

で、承知のように、糖分過剰はビタミン特にBの不足を起すからいいかえれば彼等は多少に拘らず明らかに脚気の症状を現わしている。かかる子供の保育の中心を何処へもってゆくか。これを保育的には糖分過剰の是正にあると思う。勿論脚気症状は医療行為及び食生活の改善によりしてゆくことは一応可能ではあるが、更に離乳期の栄養補給について保育者を医学的及び心理学的観点から保育指導することは非常に重要視すべき問題と考える。